

円金2

アメリカへ旅行をするときには、日本のお金「円」とアメリカのお金「ドル」を交かんする必要があります。そして、円とドルを交かんするときの割合は、日によって変わります。例えば、1ドル当たり120円のときには、6000円を(6000÷120を計算して)50ドルに交かんすることができます。また、1ドル当たり130円のときには、50ドルを(130×50を計算して)6500円に交かんすることができます。次の問に答えなさい。

- (1) 57000円を500ドルに交かんすることができました。交かんするときの割合は、1ドル当たり何円でしたか。
- (2) 清子さんは、1ドル当たり125円のときに、50000円をドルに交かんし、何日か後にそのドルをすべて円に交かんしたところ、46400円になりました。ドルを円に交かんしたときは、1ドル当たり何円でしたか。
- (3) 愛子さんは、1ドル当たり125円のときに、持っているお金をすべてドルに交かんし、そのうち10ドルを使いました。そして、1ドル当たり130円のときに、残りのドルをすべて円に交かんしたところ、はじめに持っていたお金と同じ金額になりました。愛子さんは、はじめに何円持っていましたか。

[ノートルダム清心中]

(1) $57000 \div 500 = 114$ 114円

(2) $50000 \div 125 = 400$ (ドル)
 $46400 \div 400 = 116$ (円) 116円

(3) $10125 \times 130 \text{円} \rightarrow 1300 \text{円分}$

$5 \times \Delta = 1300$
 $\Delta = 260$ (ドル)
 $125 \times 260 = 32500$
32500円